

共同助成(宮城県遊技業協同組合)

「リュウプロジェクト・ヘアドネーションプロジェクト」事業

オリジナルヒーローが「何か」を伝える活動から
髪を失った子どもにウィッグを届ける活動まで

東日本大震災から10年が経過したが、震災直後に子どもたちの願望に寄り添う形で登場したオリジナルヒーロー「破牙神ライザー龍」は、現在も被災地の幼稚園や保育園などを訪れ、「何かを伝えられるヒーロー」として活動を続けている。さらに、そこから新たな活動として、ヘアドネーションプロジェクトも派生している。



宮城・福島・岩手の幼稚園・保育所などを回り、龍を起用した交通安全教室、防犯教室、防災教室などを無償で公演



ヒーローの訪問やショーによって
子どもたちの心に大切なことを届ける

東日本震災後の2011年10月、震災で傷ついた子どもたちの「ヒーローに会いたい」という声に寄り添う目的で誕生したオリジナルヒーロー、「破牙神ライザー龍」。震災から10年が過ぎた今でも、子どもたちの龍を求める声は衰えることなく、リュウプロジェクトを主宰する「HERO」では、宮城・福島・岩手の幼稚園・保育所などを回り、龍を起用した交通安全教室、防犯教室、防災教室、リズム体操教室などの無償公演を年間200回以上実施する活動を続けている(2020年度は151回)。

また、大型会館ショーとして「破牙神ライザー龍スーパーライブ」を2014年より開催し、毎回、2,000名以上の観客を無料招待している(2020年10月に開催予定だったライ

ブは新型コロナにより2021年9月に延期。2,560名を招待予定)。

さらに同団体では、2016年より病気やケガで髪の毛を失ってしまった全国の18歳以下の子どもたちに、寄付してもらった髪の毛を使用した完全オーダーメイドの医療用ウィッグを製作し、無償でプレゼントするヘアドネーションプロジェクトをスタートさせている。

これは、毎年定期的に慰問している東北大学病院小児腫瘍センターの子どもたちのために何かできることはないかと考えて実施し、2020年度はコロナ禍で活動が難しい状況にあったが、緊急事態宣言解除後に感染症対策を徹底しながら活動を再開し、16名の子どもにウィッグをプレゼントした。

新たに始めたウィッグの無償提供に
続々と寄せられるお礼と喜びの声

活動を継続するなかで、「リュウプロジェクトでは、幼稚園や保育園で龍と出会った子どもたちが、次にまた龍と会うために小さな約束ごとをし、その約束を守ろうと頑張る姿が見られるようになったなど、先生方から効果の高まりを感じられるという感想が届きました。また、ヘアドネーションプロジェクトでは、ウィッグをプレゼントされた子どもやその家族から、「既製品のウィッグはサイズが合わず、長時間着けていられなかったが、このウィッグはサイズもぴったりで、ストレスなく学校に復学できました』『以前の自分の姿に戻ったようで、とても嬉しいです』『今まで写真を撮られることを嫌がっていた娘が、カメラに向かって笑顔を向けてくれるようになり、感動しています』などのお礼のメッセージをたくさん頂戴しました」と、同団体の代表は話す。

コロナ禍で様々な活動が制限される状況にあるが、「リュ

ウプロジェクトにおいては、感染症対策を徹底しながら継続して公演を行えるようにしていきたい。また、ヘアドネーションプロジェクトにおいては、ウィッグの提供スピードをもっと速めるために、自主財源の確保が急務だと感じている」と、同団体では今後の方針を語る。また、2021年4月から1年間、破牙神ライザー龍が宮城県の地球温暖化防止応援キャラクターに就任したことから、幼稚園や保育園の先生方から、「龍から地球環境のことについて教えてもらう教室などではできないか」という相談があり、教室のパッケージを制作中である。

宮城県遊技業協同組合より

オーダーメイドのウィッグを提供された子どもたちは、笑顔や明るさを取り戻したと思います。継続的な活動を期待しています。



ヘアドネーションプロジェクトで、ウィッグをプレゼントされた子どもたちから届いたお礼の手紙

助成団体:特定非営利活動法人 HERO

<http://www.hero.or.jp>



今年度も変わらず活動できたのもPOSCのご支援のおかげです

今後も破牙神ライザー龍を求める子どもたちや先生方の声を大切にしながら、一番近くで寄り添えるヒーローとして活動を続けてまいります。ヘアドネーションプロジェクトにおいてもウィッグを心待ちにしている子どもたちに一刻も早くお届けできるよう頑張っておりますので、今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人 HERO
代表理事 佐藤 真実さん